

## IBM WebSphere Commerce バージョン 7.0

### ハイライト

- **すべてのチャネル (各チャネル内のデジタル・タッチ・ポイントおよび物理タッチ・ポイントを含む) における、シームレスなブランド化されたショッピング体験を実現**
- **ショッピング体験の各段階において、パーソナライズされた、関連する内容の豊富なコンテンツを提供することにより、顧客ロイヤルティの向上およびショッピング・カートのサイズ拡大を促進**
- **企業のすべての販売ビジネス・モデル (B2C および B2B を含む) を単一の顧客インタラクティブ・プラットフォームでサポート**
- **マーチャндаイジング、カタログ管理、およびクロス・チャネルのプレゼンション・マーケティング・キャンペーンおよびプロモーション用の、強力なビジネス・ユーザー・ツールを提供**
- **最適なパフォーマンス、スケーラビリティ、信頼性、および高可用性を確保するために、基盤となる IBM プラットフォームの能力を活用**

### Smarter Commerce の実現

e-コマースは、もはやオンラインでの製品販売にとどまりません。よりスマートで、人の心を引きつける、魅力的な、Web のみならずモバイルや店舗内端末などの複数のチャネルに及ぶショッピング体験を提供しています。現在、企業は店舗内キオスクなどを含むさまざまなタッチ・ポイントを用いてチャネル間を行き来し、インタラクトできるような統合されたシームレスなショッピング体験をお客様に提供することができますが、これは無限の売り場での商品の選択が可能であるということです。さらに、先進的な Web 2.0 テクノロジーがオンラインでのショッピング体験の拡張や質の向上による新たなレベルの実現によって革新をもたらし、ブランドの展望と価値の提供方法を変革します。



現在、アクセス可能な情報源は増加の一途をたどっており、オンライン買い物客は、より多くの情報に触れ、豊富な知識を得ながら、絶えず進化しています。そのような中、かつて信頼していた特定のブランドに固執するオンライン買い物客は少なくなっています。より安く、より容易に購入できる競合製品に、たったワンクリックでアクセスできるので、このことは、ブランドをオンラインとオフラインの両方で管理するという課題が新たに生じていることを示しています。

こうした買い物客は、ユーザー主導のコンテンツ、フォーラムやブログなどのオンライン・コラボレーション・ツール、およびソーシャル・ネットワークやサービスなどのオンライン・コミュニティーといった、ブランド認知の方法に重大な影響を与える可能性がある媒体と接することにより、ブランド・アイデンティティを形成するうえで積極的な関与者ともなっています。この新たな買い物客の進化は、将来の成功の脅威とも機会ともなるため、ビジネスおよびブランドにとっては重大な意味を持ちます。新たな買い物客が提起する、こうした新たな課題に伴って、顧客サービスのニーズが増大しています。

たとえば、ソーシャル・ネットワークの新たな領域で、ブランドがどのように認知されるのかを知っておく必要があります。また、顧客の利便性に関するニーズの増大も緊急の課題です。買い物客がいつ、どこで企業のブランドに触れるかにかかわらず、一貫性のある、動的でパーソナライズされた、顧客中心のショッピング体験を提供し、楽しく買い物ができるようにすることこそが不可欠です。

IBM WebSphere® Commerce V7.0 は、幅広い環境に対応するように構築された、オンラインおよびクロス・チャネル商取引向けの強力なお客様とのインタラクティブ・プラットフォームです。業界最先端の e-コマース・ソリューションとして定評のある IBM WebSphere Commerce は、企業のあらゆるビジネス・モデルをサポートすると同時に、単一のプラットフォームを使用した、差別化された豊富なお客様のショッピング体験を提供します。

IBM WebSphere Commerce は、すぐに使用できる強力な機能と、使いやすしいビジネス・ユーザー・ツールを備えており、業種、企業の規模、販売モデルを問わず、ビジネス要件に合わせて拡張や縮小が可能な、柔軟性に富んだ実績のあるソリューションを提供します。こうした最先端の

ツールは、社員によるプレジジョン・マーケティング・キャンペーンやプロモーションの作成と管理のほか、カタログ、製品の品揃え、マーチャンダイジング、およびコンテンツ、価格設定、およびメディアの記録のための外部システムへの接続の効率的な管理に役立ちます。

WebSphere Commerce V7.0 は、現在使用できるソリューションの中で、最もスマートな e-コマース・ソリューションを提供します。プラットフォームの設計および機能においては、次の 3 つの主要なテーマに重点が置かれました。

- 顧客中心
- クロス・チャネルのサポート
- 先進的な基盤

#### **顧客中心: 豊富なお客様へのショッピング体験の提供**

今日の消費者は、テクノロジーに触れる機会が増え、商品を研究および比較しながら、より多くの情報に接しています (従って、以前に持っていたブランドとの絆が失われがちです)。そのため、お客様のショッピング体験を競合他社と差別化することが重要になっています。WebSphere Commerce により、お客様向けの的を絞った豊富なショッピング体験を定義・実現することができるようになります。

すなわち、強力なプレジジョン・マーケティング機能、スターター・ストア内で参照することのできる豊富な Web 2.0 ウィジェット、および多彩なソーシャル・コマース機能を使用して、ブランドおよび製品ラインの販売を促進し、差別化するのに役立ちます。

### プレジジョン・マーケティング

WebSphere Commerce バージョン 7.0 は、個々の買い物客のレベルに合わせた的を絞った提案とカスタマイズされたプロモーションを実施することにより、企業がオンライン・ショッピング・フロー、コンテンツ、および対象となるお客様の心に訴える e-マーケティング・メッセージを設計し、微調整できるようにします。また、競合他社よりもブランドが引き立つようにすることができます。プレジジョン・マーケティング機能により、買い物客の好み、購入履歴、消費行動などの属性に基づいた、柔軟性のある、自動化された、1 対 1 で進行する買い物客との対話（「ダイアログ」）が可能になります。企業は、IBM のプレジジョン・マーケティング・エンジンを使用することにより、放棄されたカート、発注、ソーシャル・メディアへの参加、検索語、URL の参照などのトリガー・イベントを感知できます。その後、カスタム・ランディング・ページ、モバイル SMS テキスト・メッセージ、または的を絞った製品のクロスセルおよびアップセルの提案を通して、対象となる買い物客に対するアクションを取ることができます。

### ソーシャル・コマース

WebSphere Commerce は、ソーシャル・コマース機能を統合することにより、社会的な結び付きのある次世代の消費者を取り込みます。ソーシャル・コマース機能を使用することにより、オンライン・ストアでは、BazaarVoice™ などのベンダーとの統合による製品の格付けやレビュー、および IBM Lotus® Connections や Pluck Sitelife® との統合によるブログ、フォト・ギャラリー、およびソーシャル・プロフィールのサポートが可能になります。IBM WebSphere sMash を使用して、ソーシャル・アプリケーションを迅速に開発し、デプロイすることにより、ベンダーにとらわれないアプローチで統合ソリューションが提供されます。これらの機能により、消費者とのダイアログを確立し、結果的にお客様のショッピング体験を向上できます。

### Web 2.0 スターター・ストア

WebSphere Commerce は、顧客のショッピング体験を Web 2.0 スターター・ストアを利用して向上させることに焦点を当てています。スターター・ストアは、オンライン・サイトを迅速に構築できるようにするための、すぐに使用できるカスタマイズ可能なストアフロントを提供します。Web 2.0 スターター・ストアは、カスタマー・エンゲージメント・スタイル・シートや機能強化された Web 2.0 ウィジェットを使用して、サイトのパフォーマンスを向上させ、チェック

アウト・プロセスを簡素化し、Web ストアフロントのカスタマイズに要するコストを削減します。製品のファスト・ファインダー、クイックな製品情報提供機能、ミニ・ショッピングカート、ページ・オブジェクトのドラッグ・アンド・ドロップなどのウィジェットの機能が強化されています。

### クロス・チャネルでの実行: すべての顧客タッチ・ポイントにおける一貫したショッピング体験

消費者は今、さまざまなチャネルを絶えず行き来しながら、製品を調査、レビュー、比較、購入しており、チャネル、タッチ・ポイント、または対話の順序に関係なく、一貫性のある、シームレスなブランド体験を期待しています。WebSphere Commerce では、ローカル・インスタ・インベントリーのビューを表示する一連の Web 2.0 ショッピング・フローが提供されます（購入後すぐに使用可能）。そのため、消費者がストア内で製品を選択してオンラインで発注し、注文のライフサイクルが完了するまでの一連の状況の更新情報を受信できます。プラットフォームは、Enterprise Resource Planning (ERP) や Distributed Order Management (DOM) アプリケーションなどのサプライ・チェーン・ソリューションと WebSphere Commerce を統合する、オープンな標準ベースのインターフェースの豊富なセットで拡張されています。

## クロス・チャネルのプレゼンション・マーケティング

クロス・チャネルのサポートにより、小売業者は複数のチャネルおよびタッチ・ポイントにおけるイベントを認識・対応できるようになります。また、事前定義されたタイムラインに従って、それらの対応を制御できます。また、企業は、複数のチャネルを行き来する消費者がブランドにとどまるように、コンテキストに基づいて的を絞ったマーケティング情報を提供することで、個々の買い物客とのダイアログを構築・追跡することができます。

## モバイル・コマース

モバイル・デバイスおよびテクノロジーの使用の増加に伴って、WebSphere Commerce バージョン 7.0 では、新たな顧客タッチ・ポイントとしてスマートフォンを使用できるようになりました。オンライン・ストアをブラウズし、製品を並べて比較して、マーケティング・メッセージ、プロモーション・コード、ストア・ロケーション情報、在庫の有無に関する情報を受け取り、取引を完了するという一連の操作をスマートフォンで行うことができます。モバイル・ストア・モデルでは、スマートフォンがすぐに使用できるようサポートされています。これにより、企業はビジネスを遂行するための新たなチャネルとしてモバイルを迅速に採用すると同時に、クロス・チャネルのプレゼンション・マーケティング・エンジンの能力をこの新たな顧客タッチ・ポイントでシームレスに利用できます。

## 先進的な基盤: 柔軟性と適応性に富んだ基盤

オンラインで、複数の販売チャネルを行き来しながら取引をする買い物客が増えるにつれて、サイトの可用性およびパフォーマンスが重要となってきます。サイトの応答が遅かったり、応答がなかったりすると、買い物客は不満を募らせ、他のオンライン・サイトで取引をするようになってしまう可能性があります。WebSphere Commerce は、基礎となる IBM ミドルウェア・プラットフォームの長所を利用して、大量のトランザクション、および信頼性と可用性に優れた運用のほか、標準の SOA ベースのインターフェースを使用したバックエンド・システムとアプリケーションへの統合を達成します。

WebSphere Commerce が実現するその他の機能は以下のとおりです。

- **IBM Management Center for WebSphere Commerce:** ビジネス・ユーザー・ツールの機能拡張としては、買い物客との長期にわたるマーケティングおよびマーチャンダイジング・ダイアログ・アクティビティを作成および管理するためのマーケティング・ダイアログ・ビルダーがあります。また、その他の機能拡張として、顧客セグメントの動的な管理のほか、拡張サイト・モデルでのコンテンツ、e-マーケティング・スポット、および販売カタログの管理がサポートされています。

さらに、プロモーション・ユーザー・インターフェースも機能強化され、カタログ属性、支払方式、無償ギフトの選択などに基づくプロモーションも追加されました。

- **企業間 (B2B) Web 2.0 スターター・ストア:** Web 2.0 ベースの B2B スターター・ストアは、豊富なショッピング体験と簡素化されたチェックアウト・プロセスを提供し、B2B 企業が B2C と同様のショッピング体験を実現できるようにします。
- **データ・ロード・ツール:** 新規のデータ・ロード・ツールを使用して、カタログ、価格設定、および在庫情報を WebSphere Commerce データベースに効果的にロードできます。
- **Web 解析統合フレームワーク:** Coremetrics や Omniture など、サード・パーティーの Web 分析ベンダーとの一貫性のある統合を実現するためのフレームワーク。
- **基盤の強化:** IBM WebSphere Application Server および IBM DB2® の基礎となるソフトウェア・スタックが更新されており、最新バージョンが利用可能です。

ビジネスの内容に応じて、WebSphere Commerce の 3 つのエディションの中から選択できます。

- **IBM WebSphere Commerce Enterprise** は、B2B ビジネス・モデルだけでなく、複数ブランドやセグメント、そして様々な国や地域向けの B2C サイトを運用するための、強力で柔軟なソリューションを、単一のプラットフォーム上に構築できるようにします。複数の販売チャンネルにわたるプロセスを合理化するための対話プラットフォームを提供し、複数のサイト、複雑な直接・間接的なビジネス・モデル、契約の合意、動的な交渉、および役割ベースのメンバー管理をサポートします。

- **IBM WebSphere Commerce Professional** は、パーソナライズされたクロス・チャネルのショッピング・エクスペリエンスを実現する、中規模企業向けの総合的なクロス・チャネル・ソリューションを提供します。企業は、クロス・チャネルのプレゼンジョン・マーケティングおよびマーチャンダイジング、構成可能なビジネス・プロセス、A/B および多変量テスト、検索エンジンの最適化およびパーソナライゼーションを使用することにより、顧客ライフサイクルを通じた買い物客の誘致、購買意欲の刺激、ニーズの把握、および買い物客との取引が可能になります。

- **IBM WebSphere Commerce - Express** は、オンライン・プレゼンスの再活用を目指している小規模から中規模企業向けに設計されています。この製品は、成長を続ける企業が Web 上でビジネスを展開できるように設計された完全なソリューションです。

#### 詳細情報

IBM WebSphere Commerce を使用した e-コマース戦略の策定および推進については、IBM 担当者または IBM ビジネス・パートナーにお問い合わせいただくか、Web サイト [ibm.com/software/commerce](http://ibm.com/software/commerce) をご覧ください。

グローバル WebSphere コミュニティへの参加にご興味をお持ちのお客様は、Web サイト [www.websphere.org](http://www.websphere.org) をご覧ください。

---

## IBM WebSphere Commerce V7.0 の概要

---

### 稼働環境: Microsoft® Windows®

---

#### ハードウェア要件

- IBM PC Server (Intel Pentium 3 または互換性のある 1.0 GHz 以上のプロセッサを搭載)
  - 最初の WebSphere Commerce インスタンスに対して、プロセッサあたり 2 GB の RAM
  - プログラム・ファイルに対して、4.5 GB の空きディスク・スペース
  - DVD-ROM ドライブ
  - TCP/IP プロトコルをサポートするローカル・エリア・ネットワーク (LAN) アダプター
  - グラフィックス対応モニター (1024 x 768 のディスプレイ解像度)
- 

#### ソフトウェア要件 (以下のいずれか)

- Windows Server 2003 Enterprise Edition、Service Pack 2 以降
  - Windows Server 2003 Standard Edition、Service Pack 2 以降
  - Windows Server 2008 Standard Edition
  - Windows Server 2008 Enterprise Edition
  - Windows Server 2008 Datacenter Edition
- 

### 稼働環境: IBM AIX®

---

#### ハードウェア要件

- 375 MHz プロセッサ以降を搭載した、以下のいずれかのマシン:
    - IBM RS/6000 44P Model 170 以降
    - IBM pSeries 640
  - 最初の WebSphere Commerce インスタンスに対して、プロセッサあたり 2 GB の RAM
  - 6 GB の空きディスク・スペース
  - プロセッサあたり 1 GB のページング・スペース
  - DVD-ROM ドライブ
  - TCP/IP プロトコルをサポートするローカル・エリア・ネットワーク (LAN) アダプター
  - グラフィックス対応モニター (1024 x 768 のディスプレイ解像度)
- 

#### ソフトウェア要件 (以下のいずれか)

- V5.3 (64 ビット) (5300-07-01-0748 以降を適用)
  - V6.1 (64 ビット) (6100-0 以降を適用)
- 

### 稼働環境: Sun Solaris

---

#### ハードウェア要件

- Sun SPARC または UltraSPARCstation (400 MHz 以上)
  - 2 GB の RAM
  - 6 GB の空きディスク・スペース
  - DVD-ROM ドライブ
  - TCP/IP プロトコルをサポートするローカル・エリア・ネットワーク (LAN) アダプター
  - グラフィックス対応モニター (1024 x 768 のディスプレイ解像度)
- 

#### ソフトウェア要件

- Sun Solaris、Version 10
-

## 稼働環境: Linux on Intel

### ハードウェア要件

- IBM PC Server (Intel Pentium 3 または互換性のある 733 MHz 以上のプロセッサを搭載)
- 2 GB の RAM
- 4.5 GB の空きディスク・スペース
- プロセッサあたり 1 GB のページング・スペース
- DVD-ROM ドライブ
- TCP/IP プロトコルをサポートするローカル・エリア・ネットワーク (LAN) アダプター
- グラフィックス対応モニター (1024 x 768 のディスプレイ解像度)

### ソフトウェア要件

- SUSE Linux Enterprise
  - Server 9、Service Pack 4 for Intel (32 ビットおよび 64 ビット)
  - Enterprise Server 10、Service Pack 1 for Intel (32 ビットおよび 64 ビット)
  - Enterprise Server 11 for Intel (32 ビットおよび 64 ビット)
- Red Hat Enterprise Linux
  - AS/ES 4 update 6 for Intel (32 ビットおよび 64 ビット)
  - V5 Advanced Platform Update 1 for Intel (32 ビットおよび 64 ビット)
  - V5 Advanced Platform Update 1 for System z (64 ビット)

## 稼働環境: Linux on POWER®

### ハードウェア要件

- Linux は、選択された IBM システムで POWER テクノロジーによりサポートされます。リストについては、[ibm.com/systems/linux/power/](http://ibm.com/systems/linux/power/) をご覧ください。
- 2 GB の RAM
- 4.5 GB の空きディスク・スペース
- プロセッサあたり 1 GB のページング・スペース
- DVD-ROM ドライブ
- TCP/IP プロトコルをサポートするローカル・エリア・ネットワーク (LAN) アダプター
- グラフィックス対応モニター (1024 x 768 のディスプレイ解像度)

### ソフトウェア要件

- SUSE Linux Enterprise
  - Server 9、Service Pack 4 for Power Systems (64 ビット)
  - Server 10、Service Pack 1 for Power Systems (64 ビット)
  - Server 11 for Power Systems (64 ビット)
- Red Hat Enterprise Linux
  - AS/ES 4 update 6 for Power Systems (64 ビット)
  - V5 Advanced Platform Update 1 for POWER (64 ビット・サポートのみ)

## 稼働環境: SystemZ サーバー

### ハードウェア要件

- 一時ディレクトリーに 900 MB の空きスペース
- Linux システムに対して、6 GB の空きディスク・スペース
- DB2 に対して、2 GB の空きディスク・スペース
- WebSphere Commerce および WebSphere Application Server に対して、4 GB の空きディスク・スペース
- WebSphere Commerce DVD のコンテンツに対して、一時空きディスク・スペースに 2 GB の空きスペース
- TCP/IP プロトコルをサポートするローカル・エリア・ネットワーク (LAN) アダプター
- グラフィックス対応モニター (1024 x 768 のディスプレイ解像度) (Windows、Linux、または UNIX マシン)
- DVD-ROM ドライブ

## 稼働環境: SystemZ サーバー (続き)

### ソフトウェア要件

- SUSE Linux Enterprise
  - Server 10、Service Pack 1 Power Systems および System z (64 ビット)
  - Server 11 for System z (64 ビット)
- Red Hat Enterprise Linux
  - AS/ES 4 update 6 for System z (64 ビット)
  - V5 Advanced Platform Update 1 for System z (64 ビット)

## WebSphere Commerce - Express

### 稼働環境: Microsoft® Windows®

### ハードウェア要件

- IBM PC Server (Intel Pentium 3 または互換性のある 733 MHz 以上のプロセッサを搭載)
- 1 GB の RAM
- 4.0 GB の空きディスク・スペース
- DVD-ROM ドライブ
- TCP/IP プロトコルをサポートするローカル・エリア・ネットワーク (LAN) アダプター
- グラフィックス対応モニター (1024 x 768 のディスプレイ解像度)

### ソフトウェア要件 (以下のいずれか)

- Windows Server 2003 Enterprise Edition、Service Pack 2 以降
- Windows Server 2003 Standard Edition、Service Pack 2 以降
- Windows Server 2008 Standard Edition
- Windows Server 2008 Enterprise Edition
- Windows Server 2008 Datacenter Edition

### 稼働環境: Linux® on Intel (SUSE または Red Hat)

### ハードウェア要件

- IBM PC Server (Intel Pentium 3 または互換性のある 733 MHz 以上のプロセッサを搭載)
- 2 GB の RAM
- 4 GB の空きディスク・スペース
- プロセッサあたり 1 GB のページング・スペース
- DVD-ROM ドライブ
- TCP/IP プロトコルをサポートするローカル・エリア・ネットワーク (LAN) アダプター
- グラフィックス対応モニター (1024 x 768 のディスプレイ解像度)

### ソフトウェア要件 (以下のいずれか)

- SUSE Linux Enterprise
  - Server 9、Service Pack 4 for Intel
  - Server 10、Service Pack 1 for Intel
  - Server 11 for Intel
- Red Hat Enterprise Linux
  - V5 Advanced Platform Update 1 for Intel
  - AS/ES 4 update 6 for Intel

---

## パッケージ

---

**WebSphere Commerce Professional および WebSphere Commerce Enterprise バージョン 7.0 は、DVD および CD-ROM で出荷されます。**

---

- WebSphere Commerce Quick Start バージョン 7.0
- WebSphere Commerce バージョン 7.0
- WebSphere Application Server Network Deployment バージョン 7.0 - Application Server (Network Deployment を含む)、Network ISA、HTTP Server およびプラグイン
- WebSphere Application Server Edge Component バージョン 7.0
- Tivoli® Directory Server バージョン 6.2
- DB2 Enterprise Server Edition バージョン 9.5
- DB2 Workgroup Server Edition バージョン 9.5 (32 ビット Linux のみ)
- IBM Data Server Client バージョン 9.5

**WebSphere Commerce - Express バージョン 7.0 は、DVD および CD-ROM メディアで出荷されます。**

---

- WebSphere Commerce Quick Start バージョン 7.0
  - WebSphere Commerce - Express バージョン 7.0
  - WebSphere Application Server - Express バージョン 7.0、Network ISA、HTTP Server およびプラグイン
  - DB2 Express Edition バージョン 9.5
  - IBM Data Server Client バージョン 9.5
-



© Copyright IBM Corporation 2009

IBM Global Services  
Route 100 Somers, NY 10589  
U.S.A

Produced in the United States of America  
September 2009

All Rights Reserved

IBM, IBM ロゴ, ibm.com, AIX, DB2, POWER, System z, Tivoli および WebSphere は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corp. の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> の「Copyright and trademark information」をご覧ください。

Intel, Intel ロゴ, Intel Inside, Intel Inside ロゴ, Intel Centrino, Intel Centrino ロゴ, Celeron, Intel Xeon, Intel SpeedStep, Itanium, および Pentium は、Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

Microsoft, Windows, Windows NT, および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、Oracle やその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。